

# 京都市会議員

# 江村りさ

1985年生まれ。嵯峨野保育園、嵐山小、嵯峨中、北嵯峨高、同志社大学政策学部卒業。  
 学生時代に村山祥栄京都市議のもとでインターンを経験。商社勤務（東京）を経て2011  
 年市議に初当選。現在3期目、京都党党首。  
 主な実績は高校入試制度改革／いじめ対応強化／AEDマップ推進／不使用の歩道橋撤去等。  
 父はサラリーマン、母は看護師と議員とは無縁の家系。しがらみ無く立ち上がったからこそ  
 できる市政改革に奮闘中。

今こそ市長与党・野党の立場に凝り固まらず、  
 市民目線に立った是々非々の議会チェック機能の実現を！

私はこれまで再三に渡り財政危機からの脱却に向け議会に闘って参りましたが、門川  
 市政は甘い見通しで財政悪化の一途を辿っ  
 てきました。  
 議員としてこれまで懸命に闘い、広報も  
 行ってきたものの、力及ばずこのような事  
 態を招いておりますことを大変申し訳なく  
 反省しております。  
 財政危機が現実のものとなり、門川市長は  
 やっと財政再建への重い腰を上げました。

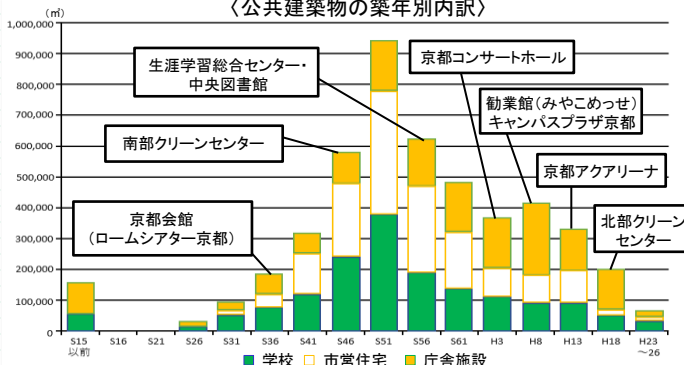
しかし身を切る改革は小規模に留まって  
 おり、個々の改革目標を示さぬまま市民  
 サービスカットに着手する事は問題です。  
 もちろん一定は市民にご協力を仰がねば  
 ならない分野も出てきますが、その前に  
 業務の効率化や市民ニーズの低いサービ  
 スの抜本的な見直しに着手すべきです。  
 本市政報告書にて直近の議会活動の一部  
 をご紹介させていただきます。

江村理紗

市民生活に直結するサービスからの着手はダメ！

## 財政危機への処方箋

〈公共建築物の築年別内訳〉



京都市は現在1450  
 カ所もの施設を抱えてお  
 り、その多くは今後10  
 20年の間に老朽化による  
 更新時期が到来します。  
 京都市の財政状況ではす  
 べての更新は困難で、取  
 捨選択しなければ更なる  
 財政負担が押し寄せる危  
 機が迫っています。  
 時代の変化等とその役  
 目を終えようとしている  
 施設においては、役割の  
 堅持ではなく、その土地や  
 建物の潜在価値を引き出  
 すような取り組みが必要  
 ません。



## 既存施設の集約化

例えば京エコーロジ  
 センター（伏見区）は環境  
 学習施設として運営され  
 ていますが、令和元年よ  
 り南部クリーンセンター  
 に新設されたさすてな京  
 都（伏見区）も環境学習  
 拠点として類似した取組  
 んが行われております。  
 また、青少年科学セン  
 ターでも類似したものが  
 存在します。担当者は棲  
 み分けを行って、あるとす  
 るものの、限りある財源  
 で施設運営を実施する上  
 では棲み分けや連携を模  
 索するばかりでなく集約  
 化を進めなければならま  
 せん。



京エコーロジセンター



# 財政危機からの脱却！まずはこれらの着手を。

TOPICS  
vol.2.

## 補助金の精査と 仕組みづくりを提言

京都市では、毎年約500件、150〜200億円の補助金を支出しています。補助金の分だけしがらみがあると、言うほど、一度始めると継続が目的化し、長期化・固定化しやすいのが課題です。私たち京都府では、果検証を定量的に行い、京都市民にとって本当に必要な補助金をきちんと精査し、持続可能かつ納得感のある仕組みづくりを求めています。

そして、今回ようやく補助金の全庁的な見直しが始まりました。これにより、社会情勢に沿った効果的・効率的な補助金の総点検が進められます。京都市は事業の公益性や補助の必要性、市民生活への影響などで決めていく方針です。ただし、現時点で総額の削減目標額は定められておりません。ここで危惧されるのは、明白な数値的判断軸が伴わないために、行政との関りの薄い、いわゆる「手すり」としての削減の対象となりやすい点です。

そこで、不透明感を払しょくするためにも、私たちは点検の際に、例えば、飲食を伴う経費が支出されているならば、2点、など、数値的な見える化を提言致しました。

補助金評価項目（事例）

| 使用内容       |          |            |              |
|------------|----------|------------|--------------|
| ①祝賀経費      | ②謝金会費    | ③飲食を伴う会議経費 | ④宿泊を伴う視察研修経費 |
| -1点        | -1点      | -2点        | -3点          |
| 受益者        |          |            |              |
| ①不特定多数の市民  | ②特定多数の市民 | ③特定少数の市民   | ④補助団体構成員のみ   |
| 5点         | 3点       | 1点         | -1点          |
| 補助期間       |          |            |              |
| ①補助開始後5年以内 | ②10年以内   | ③10年超      | ④20年超        |
| 3点         | 2点       | 1点         | -1点          |

個々の必要性は必ずしも画一的な線引きだけでは評価できません。しかし、市民生活への影響が大きいからこそ、透明性と公平性を担保することが何よりも重要です。

京都市の財政危機対策は、始まったばかりで、多くの分野で例のない総点検が始まります。不透明性を排除した公明正大な姿勢を一貫してチェックして参ります。

### 経費削減

年間171億円  
（政令市平均）高い  
**人件費の早期解消。**

給与、職員数共に高水準のため高止まりする人件費は、財政圧迫の大きな要因となっています。ただメスを入れるばかりでは士気の低下に繋がるため、人事評価による給与反映を導入し、頑張った職員が報われる制度改革と連動して提言しております。

### 税収増加

らくなん進都は農地利用から企業集積により  
**先端産業地域へ！**

らくなん進都においては農地利用を減らし、働く場所にシフト

### 経費削減

莫大な財源を使う  
**大型公共事業の新規着工に待った！**

本市では今後、市立芸術大学移転や北陸新幹線延伸、鴨川東岸線整備、京都コンサートホールならびにみやこめっせの大規模修繕等が予定されています。市立芸大においては、令和5年度までに60億円もの巨額の投資が予定されています。財政危機を抱える中、不急のものについては一時凍結、事業規模の縮減をすべきです。

### 税収増加

コロナ禍で働き方は大きく変化。京都駅周辺は  
**開発強化を！**

テレワークが進む中、地方の企業誘致は従来の工場主流ではなく、デザイン・ITや開発部門といったオフィス機能の移転検討が目立っています。大学が多く人材輩出のある京都にとっては格好の機会と言えます。

地価の高い東京圏に集積している企業は、多くが本社機能を東京に留めての一部移転が主流であるため、東京圏とのアクセスが良く一定規模以上のオフィス面積を有していることが重要条件となります。



すべく生産緑地エリアにおいて商業転用することでメリットを得られる仕組みづくりを行い、先端産業地域としての経済活性化を進めるよう提言しております。

京都駅は東京圏へのアクセスが良く、市の所有地も多いため、オフィス創出の最優先事項に位置づけ開発を強力に進め、雇用創出を図ります。

江村りさは議会でコロナ対策など  
様々な対策に取り組んでおります！

（第6波感染拡大に向け）「救急搬送困難事案に在宅救急隊を。」「コロナ感染の妊婦さんへの往診対応を。」など。京都市会のサイトより議会中継も配信中です。



YouTube

YouTubelはじめました！

江村りさチャンネル

市政の気になるニュースを動画でわかりやすく解説しております。是非ご覧ください。

京都市会議員 江村りさ事務所

〒616-8101

京都市右京区太秦和泉式部町13-2大村ビルB

TEL 075-354-6225

FAX 075-384-0202

E-mail emurar@nifty.com

HP <http://www.emurarisa.jp/>

□後援会互版38号拡大版 □発行日 令和4年1月6日 □編集・発行 江村りさ事務所



京都市の保育利用